

SUNSHINE

第31号 2008年 9月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com
 URL http://www.taiyou1991.com/

太陽開発

検索 クリック!!



賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します!

パークサイドK

前園様

案内図



中山バイパスから1本通りを入った、中山2丁目の閑静な住宅街にあるパークサイドK☆セキスイハウス造りで、全室角部屋! 2階建てのアパートです♪♪(^▽^)
 間取はファミリーさんでもゆったりの3DK☆各世帯、駐車場を2台ずつ確保できますよ☆(敷地もゆったりしていますので、停めやすいです♪)南向きで日当たりが良く、タイヨー中山店、TSUTAYA、中山小学校まで徒歩10分圏内!!
 目の前には公園もあって、子ども達が楽しく遊んでいる光景が印象的です♪♪
 今月(9月)に外壁の塗装工事を行いリフレッシュ!!♪♪(^__')
 常に満室で人気のアパートです☆

広々3DK☆



砂むし温泉

先日、初の砂むし温泉を体験してきました(^▽^)
 場所は指宿にある『砂楽』☆☆☆

美肌、ダイエット効果もあると聞いていたので、一度行ってみたかった所です。

平日だったのですが、年齢を問わず多くの人が入りに来ていました。砂むし温泉の効果は、血液の循環促進による老廃物の排出や炎症性・発痛性物質の洗い出し、十分な酸素栄養の供給が普通の温泉の3~4倍だそうです。

私もドキドキしながら、いざレッツゴー!!
 入っている時間は10分程度だったのですが、普段サウナに入ってもあまり汗をかかない私でさえ、たっぷり汗をかき、砂の重みが気持ち良く、体がすっきりになりました♪

まだ、体験したことのない方は是非一度体験してみてください(^^^)

効能

神経痛・腰痛・関節痛・
 ぜんそく・アトピー・貧血・冷え性・
 便秘・肥満...など
 様々な効果があります!!

杉之尾

騎射場探訪

異酒屋

式五四の三三九九

弊社がお世話になっている「騎射場」周辺のお店のご紹介第20弾!!

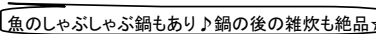
オーナー 辻川様

多趣味で気さくなオーナーの辻川様♪魚釣が大好きで、壁には大きな魚拓が飾られています☆店主自ら釣って来た魚(スズキやヒラメ、カンパチ等...)がメニューに出ることもあります! 要チェックです!! ☆(^o^)
 魚のしゃぶしゃぶ鍋もあり♪鍋の後の雑炊も絶品☆



みなさん、これ何だか知ってます?!

鍋を食べたいなあ〜と思い注文すると、変わった鍋が!! (☆□☆)
 オーナーが惚れ込んでしまったこの鍋は、モロッコの『タジン鍋』という土鍋だそうです☆ドーム型のフタは、素材の旨味を逃がさないスグレモノ♪トジギスキャンならぬ、豚肉を使った『トンギスカン』を楽しめます♪♪オススメですよ



楽しいお店です!!



一人でも大人数でも気軽に楽しめるお店です♪コース料理、飲放題コース有☆宴会に持って来い!!ロシアルーレット餃子等のメニューありますよ♪



式五四の三三九九
 (いじやんさんさんさんさんさん)
 鹿児島市荒田2丁目43-19
 TEL099-254-3399
 定休日 日曜日
 ☆木の扉が目印!! ☆



今月の一冊

其の30

赤毛のアン

ルーシー・モード・モンゴメリ

村岡花子訳

ちょっとした手違いから、グリーン・ゲイブルスの老兄妹に引き取られたやせっぽちの孤児アン。初めは戸惑っていた二人も、明るいアンを愛するようになり、夢のように美しいプリンス・エドワード島の自然の中で、アンは少女から乙女へと成長してゆく...。愛に飢えた、元気な人參あたまのアンが巻き起こす愉快な事件の数々に、人生の厳しさと温かい人情が織り込まれた永遠の名作。

カナダ、プリンス・エドワード島生まれ。幼少時母と死別、祖父母に育てられ教師になったが、30歳で書き始めた『赤毛のアン』のシリーズが熱狂的な人気を呼んだ。美しい島の自然を背景に、10冊のアン・シリーズのほか、より自伝的なエミリーのシリーズなど小説、詩集、日記を残し、国内外の多数の読者の心を捉えた。

日本にはじめて、『赤毛のアン』を紹介した。モンゴメリの作品のほか、『王子と乞食』『母の肖像』『少女パレアナ』などの翻訳が高く評価されている。



今年は『赤毛のアン』誕生100年の年です。「赤毛のアン展」が全国を回っているようなので、その内鹿児島でも開催されるかもしれませんね。また、旅行会社の企画にも「アンのご郷・カナダ・プリンス・エドワード島への旅」等の文字が踊っています。作者モンゴメリが生まれ育ったプリンス・エドワード島には、アンのお話の世界がそのままに広がっているようです。自分の気に入った作品の世界を体感できるなんて、素敵ですよ。私の友人も新婚旅行で訪れたそうです。うらやましいなあ。しかし、想像力をもって、作品の世界に浸れる事こそが読書の醍醐味! それも、作者と翻訳者の力量があればこそです。そして『赤毛のアン』は将にそんな作品です。

アンのお家になったモンゴメリのいとこの家

